

荒川区区政改革懇談会

第2回教育分科会議事要旨

【日時】

9月1日(月) 18:30~20:30

【場所】

荒川区役所 304 会議室

【次第】

ステップ1: 第1回分科会議事録の確認

ステップ3: 検討の進め方を考えよう

ステップ2: 分科会での検討テーマについて考えよう

ステップ4: 第3回分科会の進め方を考えよう

ステップ1 第1回分科会会議録の確認

前回欠席した丸島委員、久保田委員の自己紹介がなされた。

次にコーディネーターにより、第一回の会議録の確認がなされた。

ステップ2 分科会での検討テーマについて考えよう

はじめに、櫻井座長より審議会の進捗報告と審議会に出した意見書(私見)の説明がなされた。

コーディネーターより、分科会の検討テーマのたたき台の説明がなされた。検討テーマのたたき台は以下の通り。

1. 学校と地域(区民)の連携・支援について
2. 家庭や地域の教育力の向上について
3. 生涯学習社会の実現について

【テーマ設定についての意見】

- ・ この三つの案は連結しているので分ける必要が無いのではないか。
- ・ 我慢のできる人間をつくる教育が大切で、そういったことがまさに心の教育にあたると思う。
- ・ 幼稚園でも基本的な生活習慣を身につけさせるのが唯一無二のテーマだが、なかなか難しい。日本の唯一の財産は人間だと思うが、その人間を大切に育てることがなかなか難しい。
- ・ 保護司をしている関係で、先日、万引きをした子どもに会った。その子は鑑別所に入っはじめて罪の重さがわかったという。盗んでしまったらこうなると言うイメージができなかったのだと思う。それをイメージできるように、我慢させることや罰を与えることも必要だと思うが、どの程度までやっても大きな問題とはならないかのバランスが難しい。

- ・今は家庭でも学校でも過保護になっているのではないか。子どもはいくつも怪我を経験しながら、痛みを感じることで成長するのだと思う。しかし、今は周りが何も痛み等から遠ざけるようにしている傾向がある。
- ・中教審などで、教育の現場を知らない人が教育を語ったり、方向性を決めるといったのはおかしいのではないか。
- ・心の教育の面では瑞光小学校が指定されていると思うがどのような状況か。
(回答) 荒川区教育委員会個性化教育推進校として、瑞光小学校では心の教育の推進として「豊かな心で未来を開く児童の育成」ということをテーマとしている。具体的には各種体験活動や、国蝶オオムラサキの飼育等を通した心の教育を行なっている。
- ・自分は中学3年生と小学6年生の子どもを持っているが、親の中で子どもに対する意識の2極化が進んでいると思う。また、教えるということができかねないか、というような親の資質の違いがあるものだと感じている。
- ・学校にも教育の原動力がある。最低限のレベルまで人格を形成させるという意味でも、スタートラインを一斉にするという意味でも学校で行わなければいけないことも多いはずである。テーマは案の2を中心として学校も加えた連携・支援としてはどうか。
- ・人間以外の動物は他の動物に生きるかやられるかの中で生きている。そういう点では人間は甘いと思う。その甘さを自覚させるべきところが必要である。
- ・教育の力、「パワー」がどんなものであるのかをまとめてはどうか。
- ・教師が「パワー」を發揮できないのは今の教員を取巻くシステムの問題だと思う。その歯車を正すべきことを考えてはどうか。例えば、「PTAはどうあるべきか」などが考えられる。
- ・たいてい学校に苦情を言う人は、PTAに出てこないような親だといった問題もあるので、PTAと学校の関係なども議論してはどうか。

ステップ3 検討の進め方を考えよう

コーディネーターから以下の提案がなされた。

- ・これまでの議論では主に、学校が担う役割も含めて「教育力」という視点の意見が多かったと思う。そこで、今後は「学校や家庭・地域の教育力の向上について」をテーマとすることとしたい。今後テーマについて議論するにあたって、フリーディスカッションのような形をとるか、それぞれの話が繋がってくるとしても、学校、家庭、地域といった大枠の3つ側面に分け、それぞれの視点から議論をすることも考えられる。

【進め方についての議論】

- ・学校、家庭、地域の三つの視点から話をしていくというのは良いと思うが、この懇談会の成果として何を出していけるだろうか。
- ・最終的にはどのあたりのレベルの話を今年度の報告会にしようと考えているのか。

(座長説明) 審議会では長期的な視野に立った荒川区の姿を議論している。この懇談会では昨年既に構想の参考になるようなイメージでの提言を出しているので、今回は短期的であったり、地域の実情にあった議論をして報告をすれば良いのではないかと。また、懇談会の内容については自分もできるだけどんな内容を議論しているかを審議会で伝えているし、今後もそうしようと思っている。

- ・ 構想への提言は昨年で終わったとして、今後の行政への参考になれば良いといったような議論をしてまとめてはどうか。

ステップ4 第3回の分科会の進め方を考えよう

ステップ2及び3の議論から、「学校、家庭、地域の教育力の向上について」をテーマとして、学校、家庭、地域のそれぞれの側面から議論をしていくこととなった。また議論のとりまとめ方としては、具体的なレベルまでは考慮しないで、出てきた議論をまとめて報告の形にすることとなった。

次回日程は10月中下旬。

以上